

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
2) 健康心理学コラム vol. 58 石井 京子 (大阪人間科学大学)

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■日本健康心理学会第30回記念大会「優秀発表賞」の決定

2017年9月2・3日に開催されました日本健康心理学会第30回記念大会における「優秀発表賞」受賞者につきまして、以下の4名に決定いたしました。

- ・玉浦有紀 (お茶の水女子大学大学院) 維持血液透析患者における食事・水分管理アドヒアランス行動尺度の開発
- ・松井智子 (大阪大学大学院) がん患者を対象とした心理社会的サポートサービスの利用に対する影響要因の検討
- ・三浦佳代 (埼玉医科大学) 在宅脳卒中者の活動性向上を支援する行動変容型介入プログラムの試行
- ・山本哲也 (徳島大学大学院) 人工知能とライフログを活用したQOL向上のための行動変容法

■国際学術雑誌投稿支援制度のご案内

研究推進委員会では、以下の対象とする国際学術雑誌への投稿支援を行っております。2017年度は、2017年9月1日から2018年2月28日までに先着2名まで募集いたします。

対象国際学術雑誌：

Health Psychology Review
Health Psychology
International Journal of Clinical and Health Psychology
British Journal of Health Psychology
Psychology & Health

支援金：修正投稿用の英文校正料5万円、掲載時の奨励金5万円

申請方法：申請は随時受け付けておりますので、詳しくは学会HP (<http://sample.wdc-jp.com/jahp/support/index.html>) をご参照ください。

■研究部会制度のご案内

研究推進委員会では、健康心理学領域における研究の発展のため、研究部会制度を設けております。日本健康心理学会が認める研究部会として、共同研究の実施などが行なえるほか、研究部会競争的資金獲得支援制度の申請が可能となります。

申請方法：申請は随時受け付けておりますので、詳しくは学会HP (<http://sample.wdc-jp.com/jahp/support/index.html>) をご参照ください。

■研究部会競争的資金獲得支援制度

研究推進委員会では、本学会の正会員かつ研究部会に属し、競争的研究資金を新規に申請する予定である代表研究者を対象に、準備資金(20万円以下)を支給する支援を行っております。募

集期間は、毎年1月1日から7月31日とし、採択は先着3件までとします(2018年度は、2018年1月1日から申請を受けつけます)。

申請方法：詳しくは学会HP

(<http://sample.wdc-jp.com/jahp/support/index.html>) をご参照ください。

2) 健康心理学コラム Vol. 58

「健康とレジリエンス」

石井 京子 (大阪人間科学大学)

近年、耳目を驚かすような事象が頻発し、例えば100年に一度という自然現象が生活を破壊し、場合によってはいのちをも奪う事態を引き起こします。そのような状況からどうやって生活を取り戻し健康に配慮した毎日を送るかという喫緊の課題が生まれます。

このようなストレス状況への対処として今回紹介するのは、レジリエンスという考え方です。レジリエンスとは、つらい出来事に打ちひしがれ、一時的にはそれに潰されそうになっても立ち直っていく復元力を言い、1980年代に提唱され戦争や災害、虐待、貧困などから立ち上がる人の強さが検証されています。東日本大震災においても甚大な人、モノ、システムの壊滅的破壊が起きましたが、現在それぞれの場所で多くの人が立ち上がり前を向いて歩き始めています。そのきっかけとなったものが、家族(生死を問わず)の存在や近所の人々の力、音楽や地域の祭りに象徴される精神的な支えやそこで生まれる笑い、自己の問題解決力であったことを記録として読むことができます。特に音楽や芝居に勇気付けられ笑いを引き出されたことが前に向く力になったことが報告されています。笑いはひとの神経伝達物質に影響を与えストレス軽減作用すなわち心と体の危機から脱しやすくしてくれます。このようにレジリエンスの個人内要因と環境要因を基礎とした復元力が深刻な事象やストレスが発生する事態においても、精神的な健康を維持し良好な発達を保つことができる力になると考えられています。

レジリエンスを伸ばすには人との良い相互作用、危機を克服できない問題としてしまわない考える力、変化を受け入れる柔軟性、自分の中の前向きな力を信じること、展望を持つことなどがあります。世界的視野で見てもいつ、どこで、大きな紛争が起こるかもしれません。そのような時でも常に前を向いて進む力を自分に、そして子どもたちに持ってもらいたいと思っています。

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>